

平成 15 年 度 予 算 案 の 概 要

(単位：百万円)

区 分	前 予 算 年 度 額	概 算 決 定 額	差 増 △ 減 引 額	備 考
一 般 会 計	(債) 4,975 63,618	62,389	△1,229	
(内 訳)				
物 件 費	(債) 4,975 23,291	22,806	△ 485	
主 要 事 項	(債) 4,975 4,003	4,671	668	
一 般 事 項	19,288	18,135	△1,153	
人 件 費	40,326	39,583	△ 743	
特 別 会 計				
空 港 整 備 特 別 会 計	10,410	10,386	△ 24	
合 計	(債) 4,975 74,028	72,775	△1,253	

(注) 端数処理のため計算が合わない場合がある。

平成15年度予算「主要事項」の概要

1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化

大規模自然災害に対する迅速な防災体制を確立するため、官邸との連携強化、ネットワーク等の高度化及びナウキャスト防災気象情報の開発等を推進する。

また、台風や集中豪雨等の気象現象を迅速かつ的確に把握し、大雨警報等の防災情報の充実・高度化を図るため、次期静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備等を行う。

2. 地震対策の強化

地震災害の防止・軽減を図るため、東海地震等の地震・津波に関する防災情報を迅速かつ的確に提供する地震活動等総合監視システムの改良更新を行うとともに、東南海・南海地震の発生メカニズムの解明に資する地殻変動観測等を強化する。

3. 省庁統合の実をあげる情報防災の推進

防災関係機関をはじめ広く一般の国民が、わかりやすい気象災害情報を手軽に入手し、活用することができるように「防災情報提供センター(仮称)」を設け、気象や災害などに関する情報をITを活用して集約し提供する。

4. 気候変動・地球環境対策の強化

地球温暖化などの気候変動・地球環境問題に対応するため、海面上昇の監視体制を強化するとともに、地球温暖化予測技術の高度化等を推進する。

	(前年度予算)	(前年度予算)
	百万円	百万円
1. 台風・豪雨等観測予報業務の強化	4,043	(3,972)
(1) 大規模自然災害に備えた初動・危機管理対応の強化	560	(0)
リアルタイム情報提供システムの整備等		(前年度予算)



気象庁



官邸

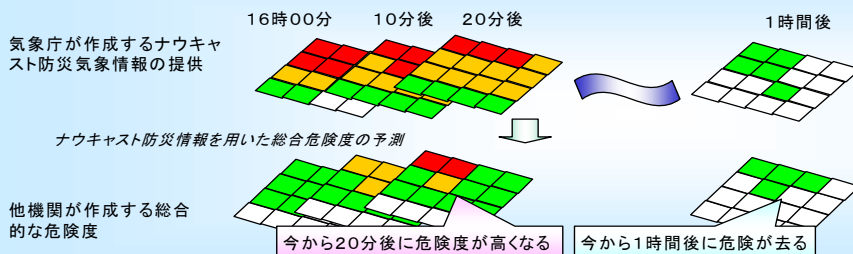
施策の概要

- リアルタイム情報提供システムによるナウキャスト防災気象情報の開発・提供
- 官邸・内閣府等への情報提供体制の強化、バックアップ体制の強化

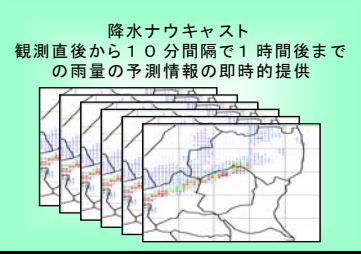
効果

- ナウキャスト防災情報の提供による、官邸における迅速な防災体制の立ち上げ
- 政府全体としての最新気象情報の共有化による、適切な防災対応の支援

ナウキャスト防災気象情報の防災への利用例(リアルタイムハザードマップへの利用)



ナウキャスト 防災気象情報の例



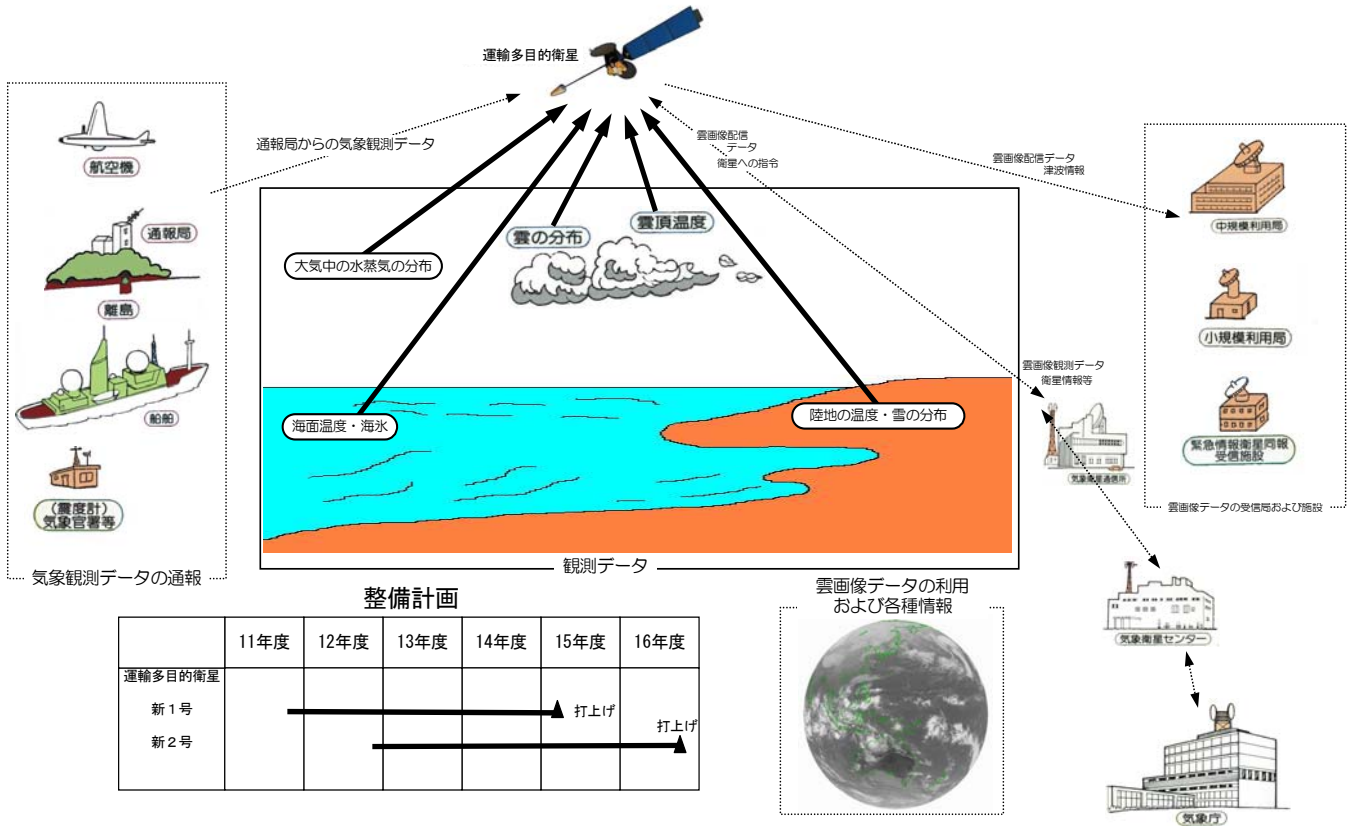
迅速・確実な防災情報提供による、政府全体の防災体制の強化
を通じた台風被害等自然災害による被害の軽減

(2) 静止気象衛星（運輸多目的衛星）の整備

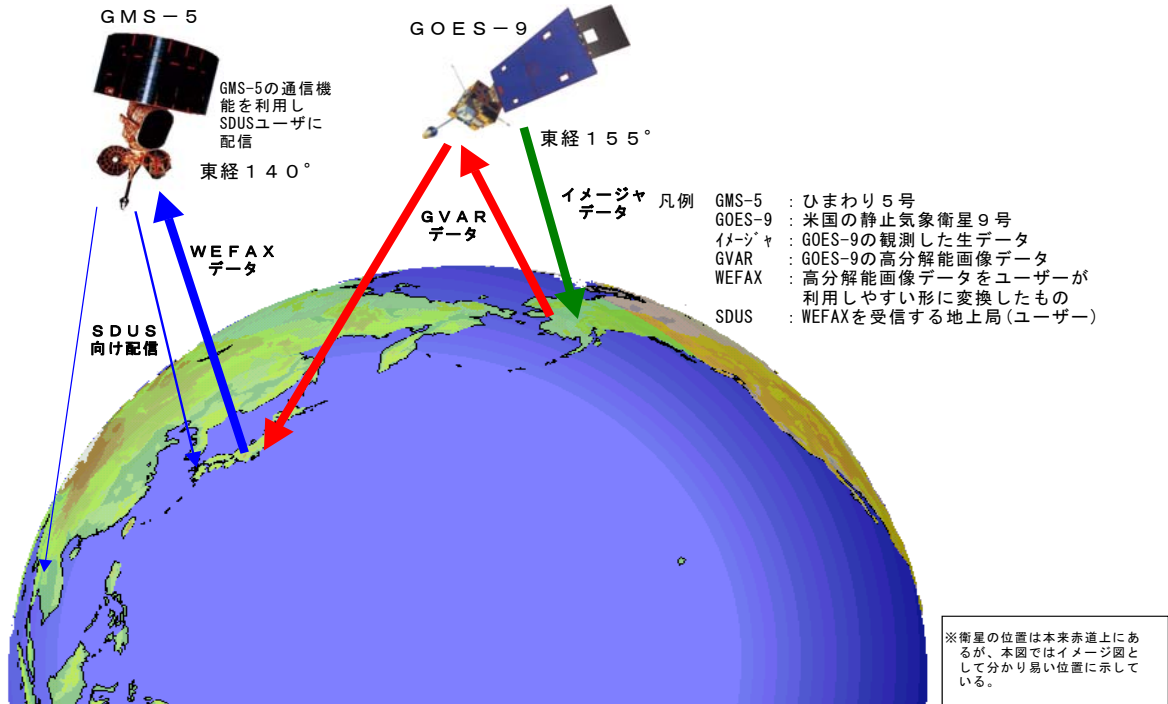
- ・運輸多目的衛星新1号の整備
- ・運輸多目的衛星新2号の整備

	百万円	百万円
(2) 静止気象衛星（運輸多目的衛星）の整備	3,321	(3,483)
・運輸多目的衛星新1号の整備	1,015	(2,525)
・運輸多目的衛星新2号の整備	2,306	(958)
(3) 静止気象衛星(GOES)利用システムの整備等	162	(489)

運輸多目的衛星による静止気象衛星システム概念図



GOES-9によるひまわり5号のバックアップイメージ



(前年度予算)

百万円 百万円

2. 地震対策の強化

東海地震等地震津波監視体制の強化

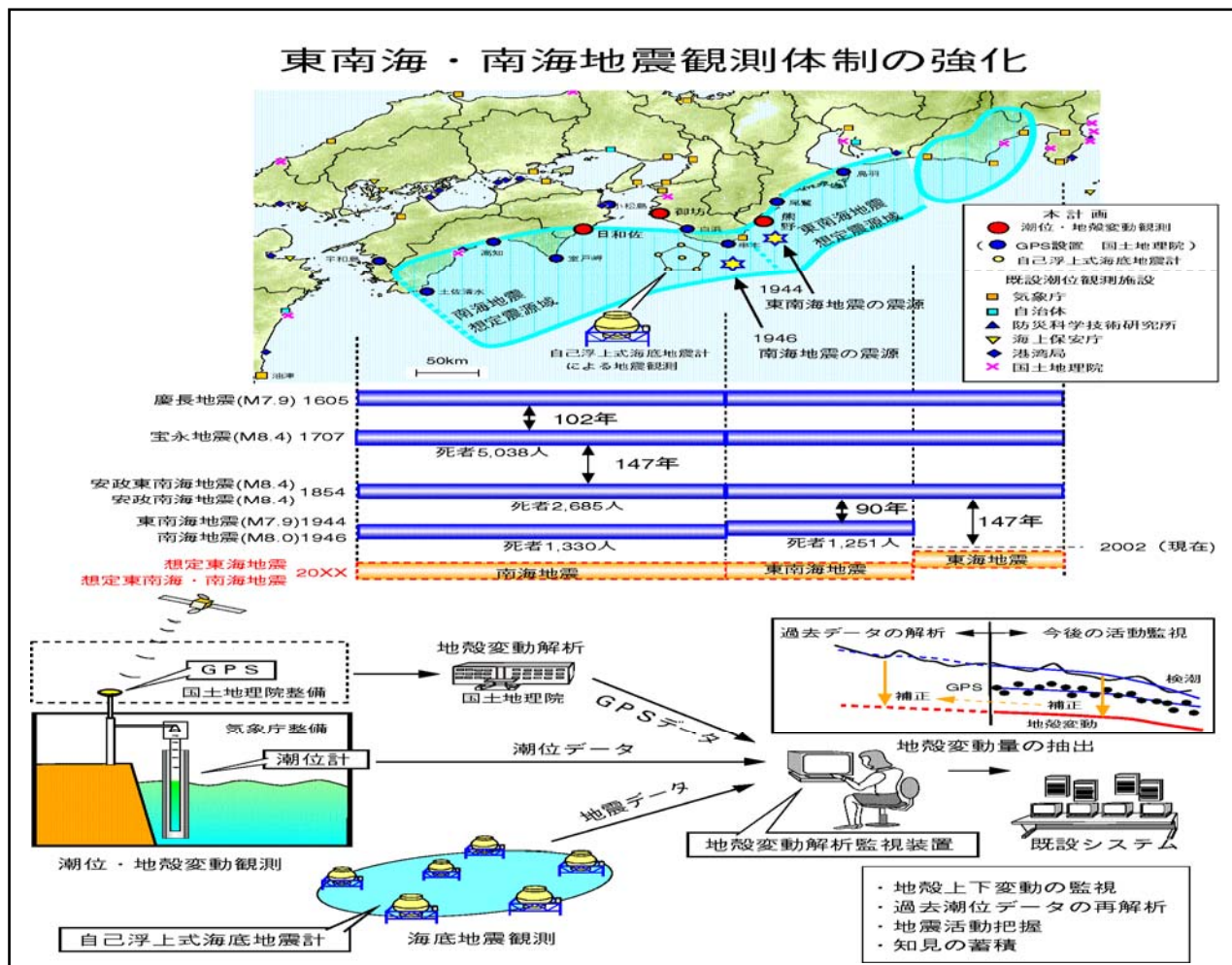
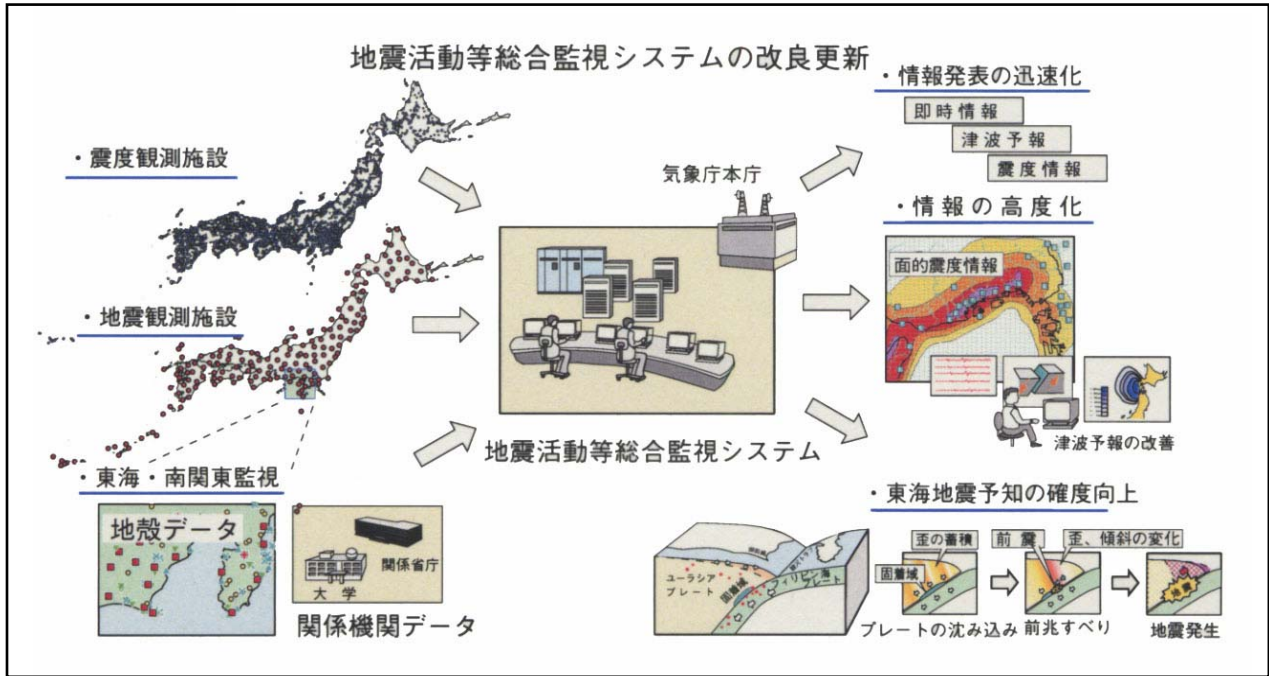
417 (0)

(1) 地震活動等総合監視システムの改良更新

269 (0)

(2) 東南海・南海地震観測体制の強化

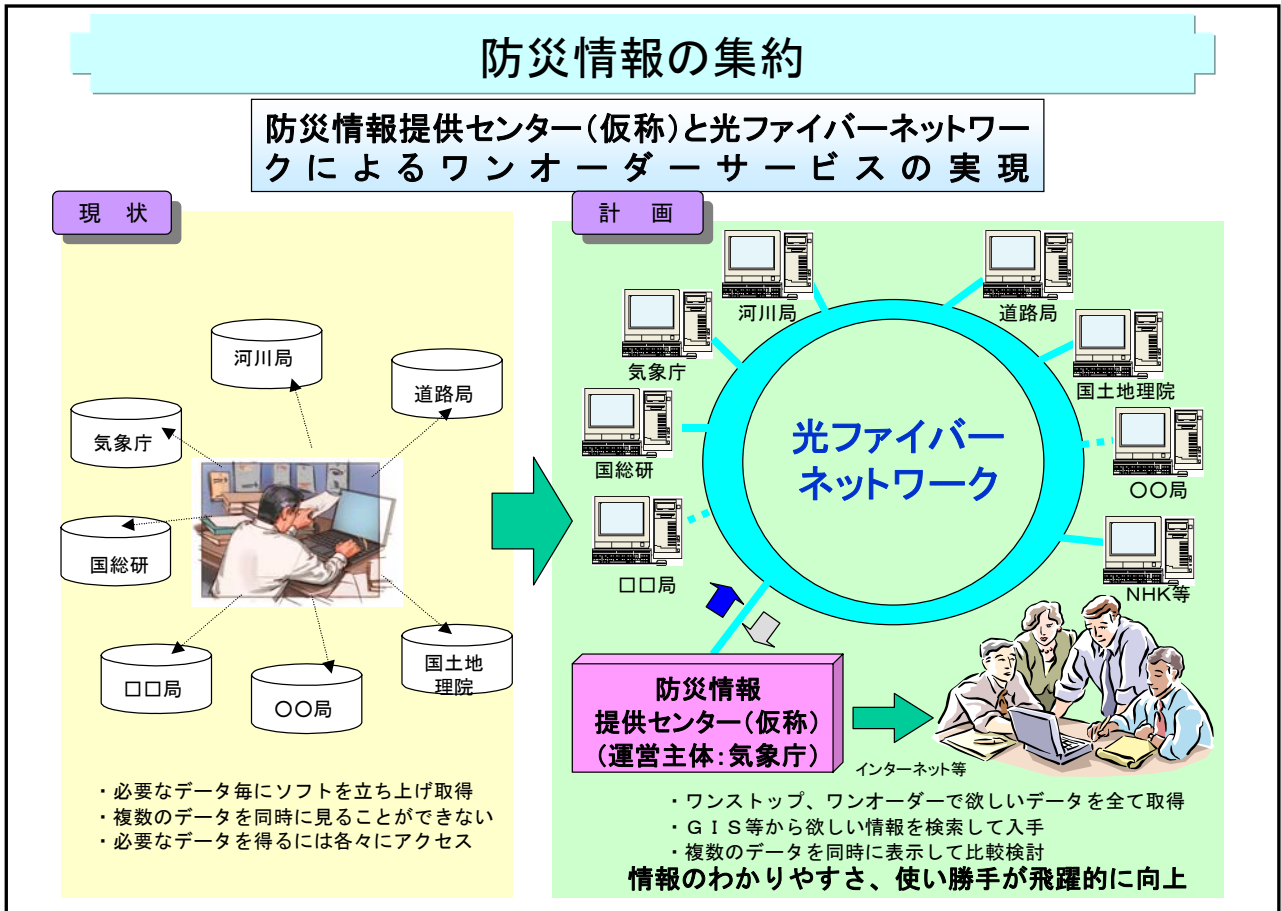
148 (0)



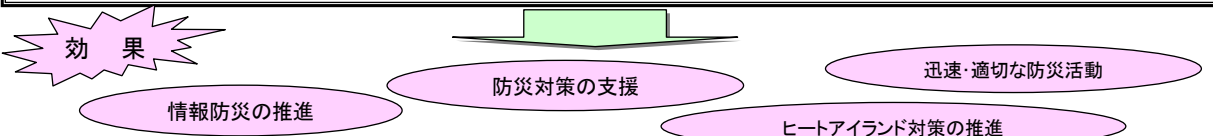
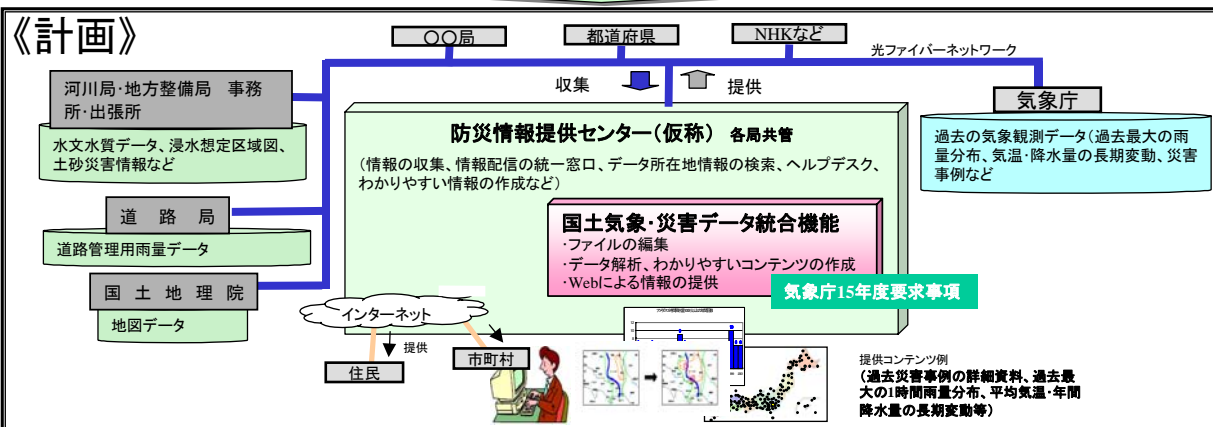
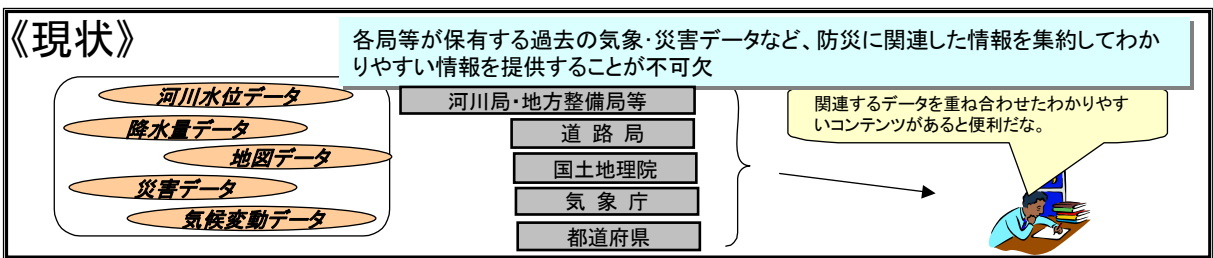
3. 省庁統合の実をあげる情報防災の推進

・ 防災情報提供センター（仮称）の整備

83 (0)



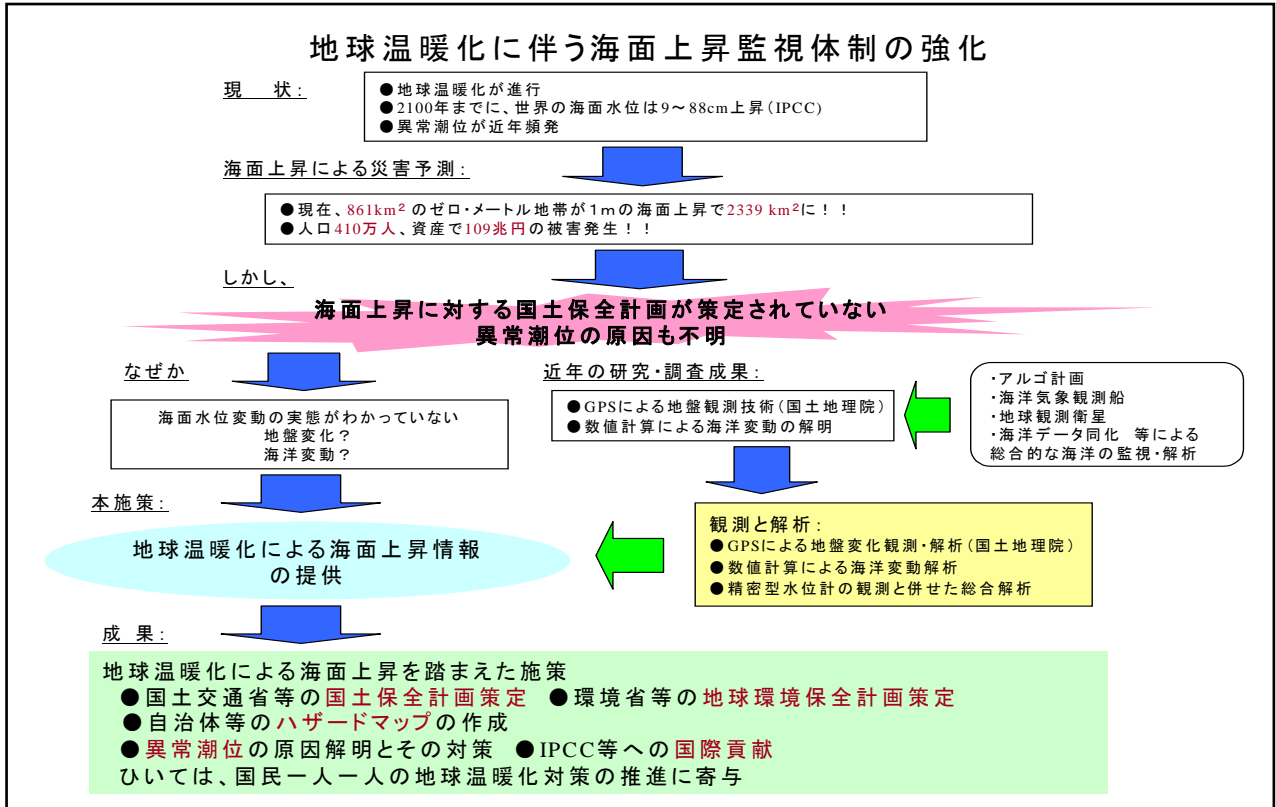
防災情報提供センター（仮称）のイメージ



(前年度予算)

百万円 百万円

4. 気候変動・地球環境対策の強化	128	(31)
(1) 地球温暖化に伴う海面上昇監視体制の強化	94	(0)
(2) 黄砂に関する情報の提供	3	(0)
(3) 気候変動予測研究	31	(31)



黄 砂 に 関 す る 情 報 の 提 供

背景と現状

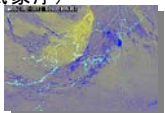
- 近年、大陸の砂漠化に伴い、**黄砂の規模および飛来件数が増加**。
→生活、交通機関に支障も。
- 特に**中国、韓国**では深刻な影響。
- **黄砂の飛来・降下の実況や予測情報の提供は不十分**。

日中韓3カ国環境大臣会合における黄砂への取り組みの重要性に対する共通認識



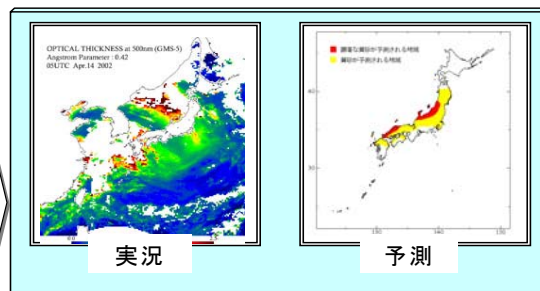
計 画

- 各種観測データ(気象庁)



- 黄砂のモニタリング(環境省)

- 予測技術(我が国の先進的な数値予報モデルの活用)



効 果

- 国民生活における**安全の確保、健康被害の軽減**。
- 交通の**安全確保、適切な運行の支援**。
- 要請に応じ**東アジア近隣諸国へも情報提供**。

情報の発表

環境省 行政機関など 国民 近隣諸国